

| | | | | | | |
|---|---|------|------|-------------|-----|---|
| 年度 2007 学期 前期 | 曜日・校時 | 金 3 | 必修選択 | 必修 | 単位数 | 1 |
| 授業科目/(英語名) | ドイツ語 German | | | | | |
| 対象年次 | 2 年次 | 講義形態 | 演習 | 教室 | | |
| 対象学生(クラス等) | 2L4 + 2F27・28 | | 科目分類 | 外国語科目(ドイツ語) | | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員(科目責任者): 古賀正之 / Eメールアドレス: /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 金曜日休み時間(教室内のみ) | | | | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | | | | |
| <p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。</p> <p>授業方法: 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また定期的にビデオ学習(内容についてのレポート提出を含む)を行います。</p> <p>授業到達目標: ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。</p> | | | | | | |
| <p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>ドイツ語 までの既習者を対象に、以下に示す各回数ごとのテーマ(その背景となる文法事項)に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また毎月1回ビデオ学習を行います。</p> <p>第1回 ドイツ語 までの簡単な復習</p> <p>第2回 挨拶や紹介など、人と知り合ったときに必要な表現その1(人称代名詞/規則動詞の現在人称変化)</p> <p>第3回 挨拶や紹介など、人と知り合ったときに必要な表現その2(疑問文の種類と答え方/疑問詞)</p> <p>第4回 人を誘うときの表現(不規則動詞の現在人称変化)</p> <p>第5回 時刻の尋ね方・答え方(sein動詞の現在人称変化)</p> <p>第6回 好きな飲み物・食べ物(haben動詞の現在人称変化)</p> <p>第7回 メールアドレスやケータイ番号の交換の仕方(定動詞第2位の原則/疑問文の語順)</p> <p>第8回 道の尋ね方(duとSie/命令形)</p> <p>第9回 位置・方向を表す表現、建物や施設の名前(名詞の性/定冠詞と不定冠詞/冠詞と名詞の格変化1・4格)</p> <p>第10回 「~してください」という表現、「持ってる? 持っていない?」という表現(否定冠詞1・4格/所有冠詞1・4格)</p> <p>第11回 買い物で用いる表現、値段の尋ね方・答え方(名詞と冠詞の3格/複数形/人称代名詞の格変化)</p> <p>第12回 プレゼントを贈るときの表現、家族・親戚を表す語(否定の語を含む疑問文とその答え方/前置詞1)</p> <p>第13回 週末や休暇の予定の表し方、天候を表す表現(分離動詞/前置詞と定冠詞の融合形)</p> <p>第14回 一日の行動・日常生活を表す表現(話法の助動詞/非人称のes)</p> <p>第15回 定期試験</p> | | | | | | |
| キーワード | パートナー練習・聞き取り練習・ビデオ学習・個別指導 | | | | | |
| 教科書・教材・参考書 | 飯田/江口 CD付き アプファールト スキットで学ぶドイツ語 三修社 | | | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期14回までの授業で学んだ会話表現や文法知識を使い、一定のテーマに沿ってテキストを作成し、それを覚え、実際にパートナーと話すことができるかどうか、2. ビデオで取り上げられた内容について、自分の知識や経験に基づいて、説得力のある的確な意見を示せるかどうか、3. 各回ごとに取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、その背景となる文法を理解し、それをを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。 | | | | | |
| 受講要件(履修条件) | 必要出席回数を上回ること。 | | | | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | 母国語、英語以外の言語を習得すること。 / それによって新たな知的視野を広げること。 | | | | | |
| 備考(準備学習等) | 独和辞典は当面は不要です。授業開始後必要に応じて紹介します。 次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。 | | | | | |